

### “花笠ちょうちん”に想いを

城北電気工事(株)代表取締役

伊藤 誠 氏



祭りは私たちに元気と希望を与え、郷土愛を育んでくれます。しかし、新型コロナウイルスにより、山形花笠まつりをはじめ地域それぞれの夏祭りが中止を余儀なくされました。

こうしたなか、私は昨年夏、「お絵描きちょうちん祭り」を開催しました。子供たち44人に絵や想いを描いてもらったちょうちんを、幹線道路に面した当社（山形市城西町4丁目）の壁面に飾り、夜間は明かりを灯して見てもらったところ地域の方々に好評で、子供たちからは「夏の楽しい思い出ができた」とうれしいメッセージが寄せられました。

コロナで憂鬱な日々を送っている子供たちに元気を一という思いで始めた事でしたが、友達や両親、祖父母に自慢げに自作を紹介している子供たちの姿に、私たちが元気をもらうこととなり「来年はもっとたくさんの子供たちに描かせてあげたい」という思いが募り、(有)山形商美社代表取締役の服部正氏と「願いちょうちん やっしょ まかしよプロジェクト実行委員会」を立ち上げ、クラウドファンディング（CF）で資

金を集めました。山形商工会議所や企業・個人の皆様からの温かいご支援を得て目標金額を達成することができました。紙面をお借りして感謝申し上げます。

願いちょうちん やっしょ まかしよプロジェクトは、山形市十日町の歌懸稲荷神社の協力をいただき、社務所の軒先に202灯のちょうちんを飾ります。このうち170灯は子どもたちの絵や願い事を、32灯にはCFに協賛していただいた企業等の名前や願い事などを記します。ちょうちんの明かりは、LED電球を使い地球環境に優しい灯りを演出します。ちょうちんの展示期間は7月10日から8月20日までの約40日間を予定しています。

当社は昭和36年（1961）11月に創立し、山形市城北町の創業者故伊藤三男蔵宅のわずか5坪のひと部屋で事業を始めました。創立当初は住宅などの配線工事を手掛けていました。その後東北電力(株)認定店となり配電線工事に着手、そして少しずつ工場などの電気工事を施工できるようになり、現在に至っています。

山形花笠まつりとかかわりは昭和45年（1970）の第8回からで、約50年ちょうちんの取り付け工事に携わらせてもらっています。願いちょうちん やっしょ まかしよプロジェクトは子供たちに夏の思い出をつくってもらいたいという思いと、コロナウイルスによって規模は小さくなくても、花笠まつりの灯りを途絶えさせたくないという思いからでもあります。

できるならば、このプロジェクトを単年度ではなく、より広く展開し「ちょうちんと言ったら山形」と言われるようなイベントに成長させることができたらとプロジェクト実行委員会のメンバーでビジョンを語り合っています。皆様にはご支援・ご協力をお願いするとともに、ぜひ、歌懸稲荷神社に足をお運びいただき、子供たちの絵や願い事から放たれる希望の光をたくさん浴びていただけたらと思います。